

後期基本計画 令和 4年度 政策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長 長内 司善 上下水道部長 及川 竜悦
-----------------	------------------------------

1. 政策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	生活基盤を整備、維持することにより、子どもから高齢者までが、安全に安心して暮らすことができる、ひとにやさしいまちづくりを目指します。また、活力あふれるまちを目指し、交流と活力、雇用の拠点づくりを進めます。
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.1	76	77	79	80	80	B
			70.6	68.8	74.7	78.5	78.5	74.6
2	幸福 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	79	80	80	C
			69.1	68.1	71.2	75	75	7.4
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 04010000 活力ある都市づくりの推進 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.1	75.6	77.1	78.5	80	80	B
			70.6	68.8	74.7	78.5	78.5	74.6
2	幸福 04010000 活力ある都市づくりの推進 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77	78	80	80	C
			69.1	68.1	71.2	75	75	7.4
3	暮らし 04020000 計画的な道路整備と維持管理 交通事故発生件数 単位 件以下	71	71	71	71	71	71	D
			57	65	65	41	41	0.0
4	幸福 04020000 計画的な道路整備と維持管理 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %以上	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	D
			67.1	66.6	67.8	71.4	71.4	0.0
5	暮らし 04030000 河川砂防・雨水排除施設の整備 浸水被害件数 単位 件	2	1	1	0	0	0	A
			0	0	0	0	0	100.0
6	幸福 04030000 河川砂防・雨水排除施設の整備 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	75	77	78	80	80	C
			69.1	68.1	71.2	75	75	7.4

後期基本計画 令和 4年度 政策方針評価書

政 策： 04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長 長内 司善 上下水道部長 及川 竜悦
-----------------	------------------------------

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値 平成30年度	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値 令和4年度	進捗状況 進捗率(%)
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
7	暮らし 04040000 持続可能な水道経営 経営資本営業利益率 単位 %	1.57	1	1	1	1	1	A
			0.82	0.74	1.39	1.01	1.01	101.0
8	暮らし 04040000 持続可能な水道経営 滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合 単位 %	74.1	75	77	78	80	80	B
			70.6	68.8	74.7	78.5	78.5	74.6
9	幸福 04040000 持続可能な水道経営 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	75	77	78	80	80	C
			69.1	68.1	71.2	75	75	7.4
10	暮らし 04050000 安全で強靱な水道の持続 滝沢市の水道がおいしいと感じている人の割合 単位 %以上	75.5	75.5	75.5	75.5	75.5	75.5	D
			72.5	66.7	73.9	77.4	77.4	0.0
11	幸福 04050000 安全で強靱な水道の持続 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	75	77	78	80	80	C
			69.1	68.1	71.2	75	75	7.4
12	暮らし 04060000 効率的な污水处理施設の整備・維持管理 水洗化率 単位 %	81.4	81.9	82.9	84.1	84.9	84.9	A
			83.3	84.7	87.7	87	87	160.0
13	幸福 04060000 効率的な污水处理施設の整備・維持管理 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	75	77	78	80	80	C
			69.1	68.1	71.2	75	75	7.4
	単位							
	単位							
	単位							
	単位							
	単位							

後期基本計画 令和 4年度 政策方針評価書

政 策：04 ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまち

担当部長職・氏名	都市整備部長 長内 司善
	上下水道部長 及川 竜悦

2. 政策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> 中心拠点商業地区の整備について、市街化区域編入後開発行為に向けた協議が進んでおり、交流と活力、雇用の拠点づくりを推進しました。 「滝沢市地域公共交通網形成計画」に基づき実証実験を行い、持続可能な公共交通について課題を取りまとめました。 持続可能な水道事業経営のため、滝沢市水道事業中期経営計画（後期）に基づき、コスト縮減と財源確保に取り組むとともに、第3次水道事業ビジョンを策定しました。 安全で強靱な水道を目指し、水源保全や施設の適正な維持管理を行うとともに、老朽施設の更新と耐震化を推進しました。 効率的な汚水処理施設の整備と普及促進、適正な維持管理を行うとともに、アセットマネジメントを策定し、経営の健全化と基盤強化に取り組みました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心拠点形成については、開発者と関係機関等と調整を行い、中心拠点商業地区の開発行為について指導しました。また市道向新田線の整備を推進しました。 小岩井駅周辺の整備については、公衆トイレの整備を完成しました。 第3次水道事業ビジョンを策定し、財務シミュレーションの見直しを行う等、利用者の利便性向上とコスト縮減に努めました。 滝沢市水道事業中期経営計画（後期）に基づく施設の更新整備と耐震化を推進しました。 公共下水道における接続率向上に取り組むとともに、アセットマネジメントを策定し経営戦略見直しへ向けての検討を行いました。 	

3. 政策の実現に向けて令和 4年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響及び燃料費等物価高騰の影響を注視する必要があります。 給水人口減少による水道料金収入の減少への対応を検討する必要があります。 <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業実施にあたって、多様化・複雑化する内容に対して職員の資質の向上と職員間の情報共有、連携がさらに必要となっています。 	

4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会資本整備総合交付金の内示率が減少する中において、優先順位を考慮し事業展開を図る必要があります。 第3次水道事業ビジョン策定において重点課題とした「有収水量の減少」「更新需要の増大」「技術の継承」の克服に向け、更新計画の策定を進め、ビジョンで定めた施策を確実に実行することが必要です。 効率的な汚水処理の実現のため、見直しを進めている経営戦略に基づき施設の改築計画を策定の上、下水道使用料改定を進める必要があります。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路改築などの事業が計画的に進まないことから、国への要望活動や財源確保に向けた活動が必要です。 協働除雪など市民との協働による事業を進める必要があります。 今後必要となる水道料金及び下水道使用料の改定に向けて、利用者、使用者に必要性を理解してもらうための広報の充実と広報手段を検討する必要があります。 	

